

# 美濃土人形の歴史と生産地

平成 26 年 2 月 24 日資料 恵那市教育委員会文化課  
(平成 15 年 2 月 26 日 (水)、亀山正己氏の中山道ひし屋資料館企画講演会資料を改訂)

土人形の歴史は、京都伏見人形を源として考えられています。伏見人形は文化文政時代（1804～1830）から製作されていたと言われます。

名古屋、犬山、碧南市を中心とした三河土人形は、伏見土人形の影響を受けて、いずれも江戸時代末期の天保～安政（1830～1860）ごろから製作されてきました。

美濃土人形は、明治 20 年ごろから、三河土人形、犬山土人形の影響を受けて製作を始めています。古い時期の土人形は、ニス塗りの三河型土人形が多く、時代が下がるにつれてニス塗らない犬山型土人形（尾張型とも）が多くなってきます。

美濃土人形の特徴は、

- ・土は上質の白粘土を使い、薄くて軽い。
- ・彩色は淡彩で嫌みがない。
- ・色は、金、銀、黒を多く使う。
- ・凹凸が少なく、彫りが浅い。
- ・動きの少ない直立型の人形が多い。 などです。

製作地は東濃地方に限られており、大正時代を中心に多くの作者、多くの作品を生み出してきました。なかでも、瑞浪市土岐町市原地区は、集落 70 軒のうち 50 軒が土人形を製作しており、市原人形として全国にその名を知られています。

## 【美濃の製作地一覧】

市町村	地区	制作者や特徴等
可児市	広見	高田伊兵衛・覚太郎(M21 生、S28 没)、型への流し込み、目が大きく、きつい感じ、ピンクをアクセントとして使う。
	下切 (旧姫路村)	渡辺一夫 (M43 生、S62 没)、ピンクをアクセントとして使う。
	大森	可児新六 (文久 1 生、S10 没)・蔵三郎 (M15 生、S37 没)
御嵩町	元町	服部久作・広三郎
	井尻	
	顔戸	
	中	
多治見市	豊岡	
	笠原	
	滝呂	
土岐市	久尻	
	泉	
	下石	

瑞浪市	土岐町一日市場	杉浦伊助（ニス塗る三河型）、平野栄吉（M28 生）、後ろ凹凸なし
	土岐町市原	伊藤只吉・てる、小幡友五郎ほか 50 軒あり、犬山系でニスを塗らない尾張型、後ろ凹凸なし、水野つまさんは眼に紅をさす。
	小田町	有賀沢二（M16 生）・そで（M19 生）、後ろ凹凸なし
	寺河戸町一色	橋本階一（M25 生）・志の（M30 生）、三宅作蔵（慶応 2 生）・三宅章（M20 生）ほか 2 軒、後ろ凹凸なし
	山田町	安藤健治（M7 生）・文彦（M24 生）、流し込み技法、裏は閉じて丸い穴、後ろ凹凸なし
	日吉町半原	土屋都一・貞夫、裏が扁平でなく凹凸があり立体的
恵那市	長島町中野新田	横山要吉（可児久々利で M14 生、S9 閉業、S44 没）、ピンクをアクセントとして使う。底は綴じて丸い穴をあける。背面に「横山製」「人形や」「中ノ」「ナカノ」「ミノ」「横山製」「人形屋」「奥古山」等の陰刻がある。
	武並町藤	交告家、加納家、丹羽家、市原の人形から型どりしたため一回り小さい。
	三郷町佐々良木	足立正次郎・ます（M31 生）、瑞浪市原の型を購入。昭和初年～15 年頃製作
	中野方町	長谷川恭一（大鋸屑人形を製作）
	山岡町久保原	原田常蔵
中津川市	千旦林	浅野松之助（安政 1 生）・高次郎（祥雲、M24 生、S58 没） ニスを塗る三河型、絵付けが派手
	手賀野上原	生田安之助・広一（M13 生）
	茄子川	三河型、型の接着部が丁寧な仕上げ、二重線が入る。
高山市		岩信成（娘が小型物、土鈴を製作）

【三河土人形】重たくて大型（60～70 cm）。瓦の生産地であり、土が赤く、ニスを塗るのが特徴。歌舞伎ものが多い。棚尾（碧南市）が中心で、中十・中重（岡本重太郎・開太郎）が有名

【ニス塗り】明治 33 年以降、法律でニス塗りが義務づけられるが、大正初めに廃止された。明治 33 年以前の古いものにはニスが塗ってない。

【土人形の種類】同じ型で異なる人物を作る場合がある。衣装や紋の特徴から役柄を特定する。

■縁起物やお伽話、十二支：内裏、天神（学問）、高砂（長寿）、福助、達磨、七福神（恵比寿・大黒・寿老人等）、鶴姫、鯛童子、俵童子、桃太郎、養老伝説、浦島伝説（浦島太郎、乙姫）

■歴史上の人物：神武天皇、神功皇后、武内宿禰、源頼朝、源義経、牛若丸、弁慶、巴御前、常盤御前、楠正成、小野道風、織田信長、武田信玄、上杉謙信、豊臣秀吉、太閤と三法師、加藤清正、徳川家康、遠山の金さん、明治天皇、乃木大将、等

■歌舞伎・舞踊の世界：八重垣姫と武田勝頼（本朝廿四孝）大星由良之助と力弥・寺岡平右衛門・お軽と勘平（仮名手本忠臣蔵）、政岡と鶴千代・仁木弾正・荒獅子男之助（伽羅先代萩）、熊谷直実と平敦盛（一谷嫩軍記）、源義経と静御前・狐忠信（義経千本桜）、梅王丸と松王丸（菅原伝授手習鑑）、重の井と三吉（恋女房染分手綱）、明智光秀と十次郎・十次郎と初菊（絵本太功記）、富樫と弁慶（勸進帳）。汐汲、藤娘等

■生活・風俗：御高祖頭巾女、花魁、ハイカラ娘、馬乗鎮台、軍人、愛国夫人、兵隊、洋装娘、花嫁等